

教育支援隊事業

平成 23 年 4 月
太田市教育委員会

1 概要

太田市の教育支援隊事業は、きめ細かな教科指導のための市の独自施策です。平成 10 年度から始まり、国語・算数（小学校）、数学・英語（中学校）における 20 人以下の少人数クラス編制やティームティーチングによるきめ細かな指導により学力向上が図られ、成果を挙げてきました。

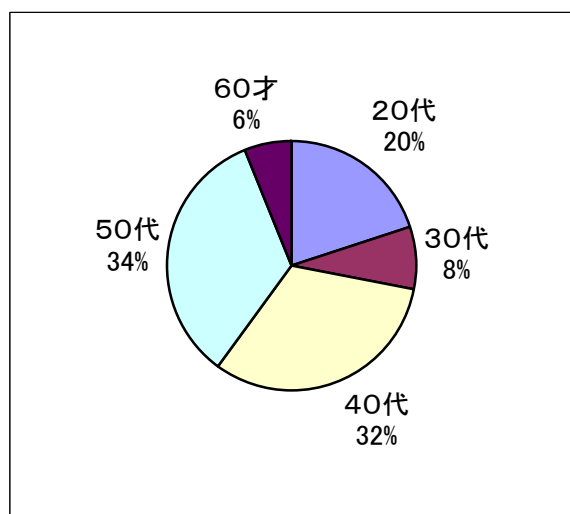
平成 23 年度は、小学校 5・6 年の算数と 4 年の国語、中学校全学年の数学と 2 年または 3 年の英語で少人数指導を行います。このことにより、小学校高学年の一層の学力向上とともに中 1 ギャップの解消、また、中学校でつまずきの多い教科の指導を充実させます。

さらに、教科指導上の学校課題に対応できるように、例えば小学校の理科専科、音楽専科、中学校では特定教科の指導の充実のためなど、柔軟に教育支援隊を活用します。

2 教育支援隊の歴史

- 平成10年10月26日、教育活動指導助手として旧太田市小学校に26人を配置。
- 平成17年3月28日、1市3町（太田市、尾島町、新田町、藪塚本町）の市町村合併に伴い名称を「教育支援隊」に統一。平成17年度は小学校に103人、中学校に18人、計121人を配置。
- 平成20年度、小学校に71人、中学校に25名、特別支援学校に1人、計97人を配置（群馬県の少人数指導施策の拡充に伴い、小学校への配置人数を縮減）。
- 平成 22 年度、小学校に 32 人、中学校に 18 人、計 50 人を配置。
- 平成 23 年度、小学校に 36 人、中学校に 14 人、計 50 人を配置。

※平成 23 年度年齢構成（50 人中 女性 43 人 男性 7 人）



3 教育支援隊の活用状況

(1) 形態別活用状況

児童生徒の実態や指導教科の学年・内容に応じて、各学校で少人数クラス編制とチームティーチングを柔軟に組み合わせながら指導しています。

(2) その他の活用状況

- ・朝 … 宿題等点検、朝学習の指導、読書指導、集会活動支援、校内パトロール
- ・昼休み … おおむね満足と判断される状況に達しない児童生徒への指導
- ・放課後 … 補習指導、少人数指導打合せ
- ・給食指導、清掃指導、掲示物作成等の環境整備
- ・夏季・冬季休業中の補充的指導

4 独自の研修の実施 ～平成23年度教育支援隊研修会～

(1) 目的

太田市教育支援隊に関する要綱に基づき、児童生徒一人一人に学習内容を確実に身に付けさせるためのきめ細かな指導を充実させることを研修の目的としています。

(2) 全体研修会

第1回 4月6日(水) 辞令交付式・教育長講話

職責と服務、児童生徒理解、教科指導、情報交換【全員】

第2回 5月中～下旬 平成23年度新規任用者への指導訪問【平成23年度は10人】

第3回 7月26日(火) 教科別研修(講義・演習)【全員】

(3) 指導訪問時における授業(全員)

前期または後期の指導訪問で1回、教育支援隊一人一人が学習指導案を作り指導主事から指導を受けます。その後、指導された内容・所感等をA4版1枚にまとめ事務局担当まで提出します。

(4) 代表授業者による授業研究会

10月から12月に教育支援隊の授業研究会<教科別研修会>を実施します。小学校は、国語・算数のいずれか、中学校は数学、英語の教科別に参加し、その他の教科を担当する教育支援隊は、後期指導訪問日に該当する教科の本務者の授業を1時間参観します。

(5) 学習指導案の提出

担当している教科で行った学習指導案を提出します(対象は平成21,22,23年度任用者及び国算数英以外の教科指導を担当する教育支援隊)

(6) 学校から教育委員会事務局への報告

教育支援隊の「活用及び検証計画書」(5月)、「検証結果報告書」(3月)を提出します。

5 成果と課題

(1) 成果

① 標準学力調査結果から

平成18年度より新市として初めて同一問題を使用しての検査を実施していますが、小学校の国語と算数、中学校の数学と英語において、太田市の正答率は、目安とする期待正答率または全国正答率を毎年上回っています。

② 学校現場の感想から

「きめ細かな指導により、机間指導やノート指導など個への対応が充実している。」「早期に個への補充指導ができ、基礎学力の定着につながっている。」「児童生徒の発言機会が増え、学びの達成感や充実感をもたらしている。」「教科担任制など学校課題の解決のために配置してもらうことで、教材研究の深さが子どもの意欲的な学習態度や子どもの多面的な理解にもつながっている。」

③ 保護者の感想から

「少人数や TT での指導は、子どもたちの集中力が高まるし、分からないことを教えてくれるので親としてありがたい。これからも続けてほしい。」「担任の先生だけでは手をかけてもらえない部分も、細かく教えてもらえるのでうれしい。」「先生に声をかけてもらえる回数やほめてもらう回数が増え、認められていると感じ、子どもがやる気になっている。」「授業参観の時、担任が授業を進めているかたわら、子どもたちの様子をきちんと見て指導されていた。疑問をもったところをすぐに聞くことができ、すごくよい環境で授業が受けられていると思う。ぜひ継続をお願いしたい。」

④ その他の成果

- ・教材教具の準備が迅速になり、内容的にも充実してきています。
- ・算数教室や国語教室など少人数教室の充実（掲示物等の工夫）が図られています。
- ・国・算のきめ細かな指導の取組が、他教科の指導と連携し授業改善の意識が高まっています。

(2) 課題

- ・（教科）担任との打合わせ時間の確保や連絡調整の工夫
- ・実態（児童生徒、教室数、指導力）に合わせた活用方法の工夫
- ・教育支援隊の指導力の一層の向上を図る研修の充実